

JCCLS

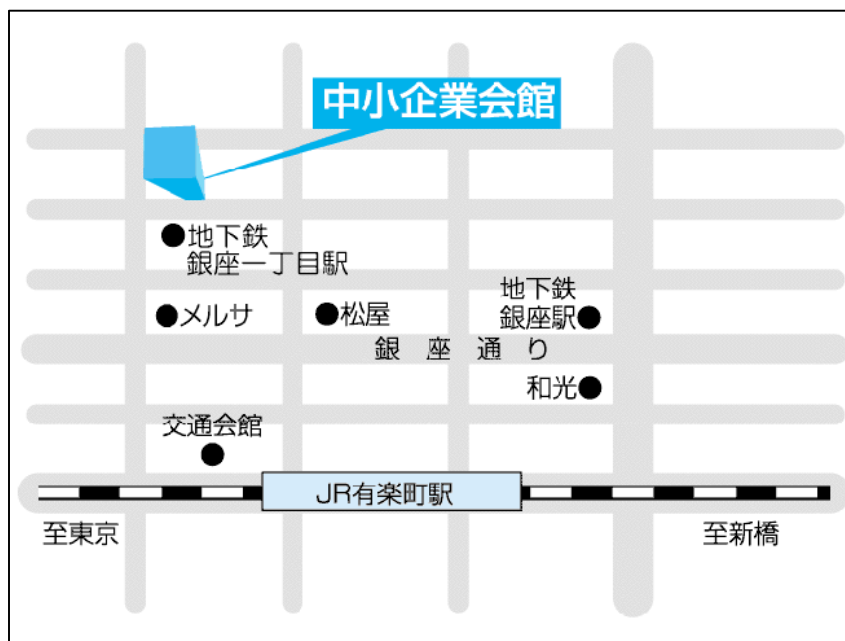
2008 年度日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) 学術集会

■主催：特定非営利活動法人 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)

■開催日時：平成 20 年 8 月 23 日 (土) 午後 1 時～5 時

■開催場所：東京都中小企業会館 9 階講堂

TEL : 03-3542-0121



- ・地下鉄有楽町線銀座一丁目駅(11出口)
徒歩1分
- ・地下鉄銀座線銀座駅(A13出口)
徒歩7分
- ・JR 有楽町駅(中央口・京橋口)
徒歩10分

■会費：無料

ご案内

JCCLS の設立趣旨である臨床検査医学の領域における標準化はここ数年間において長足の進歩が図られたと考えられます。その一つの推進力として、JCCLS が中心として取組みました委託事業があげられます。具体的には (独) 新エネルギー産業技術総合開発機構 (NEDO) から (独) 産業技術総合研究所に委託された「臨床検査用標準物質の研究開発」であり、JCCLS との協力下で実施し、昨年は 3 年目の最終年度を迎えました。また、機械システム振興協会から委託された「臨床検査用分析装置における自動校正システムの開発に関するフィージビリティスタディ」が初年度を迎え、「標準的な健診・保健指導 (メタボリックシンドローム)」で測定される血液検査 8 項目の現状と自動校正システムの開発を実施いたしました。また、合わせて「標準的な健診・保健指導プログラムにおける血液検査 8 項目のトレーサビリティに関する指針」も発刊いたしました。

本学術集会ではこれらの成果を公開し、今後の展開や応用に関して講演をいたします。関係者の皆様方にご聴講を頂き、ご意見や JCCLS の活動にご理解とご協力を賜りたいと考えております。

第22回 (2008年度) 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) 学術集会プログラム

臨床検査医学における標準化の現状と今後

開会の挨拶 濱崎 直孝 (JCCLS 会長)

13:00～13:45 **特別講演**

「Laboratory Standardization from the Patient's Point of View」

司会：濱崎 直孝 (JCCLS 会長)
演者：Gerald A. Hoeltge (CLSI 会長)

1.標準物質開発の状況

司会：濱崎 直孝 (JCCLS 会長)

13:45～14:00 国際的な標準化と臨床検査医学への関連 (VIM 第3版も含めて)
今井 秀孝 (産業技術総合研究所顧問)

14:00～14:15 JCTLM の活動報告
千葉 光一 (産業技術総合研究所)

14:15～14:30 JCCLS における標準物質の現状と今後
濱崎 直孝 (JCCLS 会長)

14:30～14:45 NEDO 委託事業「臨床検査基本検討委員会一柱1」の研究開発
純物質系

高津 章子 (産業技術総合研究所)

14:45～15:00 実試料系
望月 克彦 (日本臨床検査薬協会技術委員会)

15:00～15:10 質疑応答

15:10～15:25 休憩

2.標準物質の応用

司会：高木 康 (JCCLS 副会長)

15:25～15:45 臨床検査データ標準化事業
細萱 茂実 (日本臨床衛生検査技師会)

15:45～16:05 臨床検査室の認定 トレーサビリティと不確かさの考え方
久保野勝男 (日本適合性認定協会)

16:05～16:25 臨床検査用分析装置における自動校正システムの開発に関するフィージビリティスタディ
稲次 稔 (日本分析機器工業会医療機器委員会)

16:25～16:35 質疑応答

閉会の挨拶 菊地 博 (JCCLS 副会長)

(プログラム内容は変更の可能性があります、ご了承ください。)